

萬運輸

経営計画など理解促進

創業60周年 永年勤続者など表彰

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は9日、創業60周年祝賀会と永年勤続者・三ツ星表彰制度受賞者の表彰式を開催し、17人の功績をたたえた。また、東海林社長がデジタル教材の活用で、経営改革や社内ルールなどに対する全社員の理解度アップを促すべく、「全社員の理解度をチェックする手法を積極的に取り入れていく」と東海林社長



「全社員の理解度をチェックする手法を積極的に取り入れていく」と東海林社長

進していく考えを示した。永年勤続では、勤続20年の横浜営業所（同区）の阿部茂樹所長ら、10〜30年の13人に表彰状が贈られた。三ツ星表彰制度は、優秀な技能や一定基準以上の資格を有する社員をたてるもので、職務に対する意欲の向上や職場の士気高揚、一層の業務効率化を図るのが目的。

今回、最高位の三ツ星の該当者は無く、二ツ星では阿部剛氏（庄内営業所）と川島実央子氏（管理部）、一ツ星では佐藤昭夫氏（小山営業所）と佐藤雄樹氏（管理部）がそれぞれ表彰を受けた。

会社の業績説明で、東海林氏は「2年目に入った5カ年中期経営計画『TAK E-5』には、48の施策を盛り込んでいる。実現に向け、視聴覚に訴えるデジタル資料を活用し教育の実施記録を残すとともに、全社員の理解度をチェックする手法を積極的に取り入れて理解度アップを図っていく」と話した。

また、未来の在るべき姿を描き、そこを起点に現在何をすべきかを考える思考法「バックキャストリング」を紹介。「3年後の創立60周年、10年後の創業70周年に向けて、会社と自分自身についてバックキャストリングし、日々取り組みを積み重ねて欲しい」と呼び掛けた。

（吉田英行）